

緊急セミナーのご案内

今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします

回
覧

--	--	--	--	--

高等教育活性化シリーズ 127 (通算 396 回)

2008 年 10 月 4 日(土)

どうなる? どうする!!

〔対論〕法科大学院の明日～5年の総括と展望

高等教育活性化シリーズ 128 (通算 397 回)

2008 年 10 月 17 日(金)

21 世紀市民社会の法的マインド・スキル

これからの法学・法律系学部教育とキャリア形成

どうなる? どうする!!

〔対論〕法科大学院の明日～5年の総括と展望

～“日本型法化市民社会”へのシナリオと“新弁護士”像～

現場の試行錯誤 / 認証評価結果の状況 / 不適格認定 / 歪みの是正と認証評価の機能 / 質保証期待と得たもの / 未修者・既修者にとっての教育課題 / 新司法試験の評価 / 司法修習と考試法化社会とは / 法曹のコアバリュー / 弁護士の職域・業務拡大 / 企業・行政内法務における役割

[懇談・交流パーティ開催] “法科大学院の明日を拓く”

対論者

- 永田眞三郎 氏 / 関西大学教授・法科大学院協会専務理事
前・大学設置・学校法人審議会会長、中教審大学分科会法科大学院特別委員会委員
- 京藤 哲久 氏 / (財)日弁連法務研究財団認証評価委員会副委員長、明治学院大学法務職研究科長
- 古口 章 氏 / リベルテ法律事務所弁護士、静岡大学大学院法務研究科教授
日弁連法科大学院センター委員長
- 布施 正樹 氏 / 石下雅樹法律・特許事務所弁護士、法科大学院第1期修了生
- 出井 直樹 氏 / 日弁連法的サービス企画推進センター事務局長、小島国際法律事務所弁護士
- 梅田 康宏 氏 / 日本組織内弁護士協会理事長、日本放送協会総合リスク管理室法務部法務主査、弁護士
一橋大学法科大学院非常勤講師

2008 年 10 月 4 日(土) 日本教育会館 会議室 (東京・神保町)

21 世紀市民社会の法的マインド・スキル

これからの法学・法律系学部教育とキャリア形成

～ロースクール時代の市民法務・実務家養成の再構築～

最近の法科大学院～“意識と行動” / 法律系資格の有用性 / 学部生の進路・キャリア指導への期待
法科大学院後の法学部の再構築 / 到達目標と進路選択 / 学習・キャリア目標と到達度評価
実務家養成の課題 / 司法書士業務の拡大と人材・教育ニーズ / 基礎・実務・受験教育の構造化

講師陣

- 塚本 雅基 氏 / (株)法学館・伊藤塾法科大学院情報センター室長、法科大学院・司法試験主任コンサルタント
- 木幡 文徳 氏 / 専修大学法学部長・教授、元・自己点検・評価委員会委員長
- 齋藤 隆夫 氏 / 桜美林大学教授・司法書士、元・日本司法書士会連合会常任理事

2008 年 10 月 17 日(金) 剛堂会館ビル(明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)



地域科学研究会・高等教育情報センター

[参加要領]

日時： 高等教育活性化シリーズ 127 [対論] 法科大学院の明日～5年の総括と展望
 2008年10月4日(土) 13:00～18:00
 会場： 日本教育会館 会議室 (東京・神保町)
 (東京メトロ半蔵門線・都営新宿線「神保町駅」A1 番出口より徒歩3分)
 東京都千代田区一ツ橋 2-6-2 TEL 03(3230)2831
 日時： 高等教育活性化シリーズ 128 これからの法学・法律系学部教育とキャリア形成
 2008年10月17日(金) 13:00～17:00
 会場： 剛堂会館ビル(明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)
 (東京メトロ有楽町線「麹町駅」1 番出口より徒歩3分)
 東京都千代田区紀尾井町 3-27 TEL 03(3234)7362

参加費：

	ご一名(資料代を含む)
高等教育活性化シリーズ 127 [対論] 法科大学院の明日～5年の総括と展望	42,000 円(パーティ代、消費税込)
高等教育活性化シリーズ 128 これからの法学・法律系学部教育とキャリア形成	37,000 円(消費税込)

参加費の払い戻しはいたしませんので、申し込まれた方が都合の悪いときには代理の方がご出席ください。

申込方法： 参加申込書に所要事項を記入のうえ FAX または Email にてご送付ください。

受講証と会場地図を送付しますので必ずご確認ください。

支払方法： 銀行振込・郵便振替・当日払い・請求後の振込みがあります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880 三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658 *郵便振替：00110-8-81660

すべての口座名 (株)地域科学研究会

(なお、ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます)

インターネットでのご案内は <http://www.chiikikagaku-k.co.jp> E-mail kkj@chiikikagaku-k.co.jp

お申込み・お問合せ



地域科学研究会
 高等教育情報センター

東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106
 TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993
 E-mail kkj@chiikikagaku-k.co.jp

.....キトリ線(参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

2008 年 月 日

の中に✓印を入れてください。

高等教育活性化シリーズ 127

[対論] 法科大学院の明日～5年の総括と展望

高等教育活性化シリーズ 128

これからの法学・法律系学部教育とキャリア形成

勤務先 _____

所在地 〒 _____

TEL _____

FAX _____

連絡部課・担当者 _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

通信欄 支払方法(郵便振替・当日払い・銀行振込) 請求書(要 不要)

この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	論点 主張したいこと 対論者に聞きたいこと
13:00 ~ 14:10	<p>法科大学院～創設5年目の現在と評価、そして今後 ～認証評価の実施結果といくつかの課題～</p> <p>永田眞三郎 / 関西大学 法科大学院教育の歪みの是正と認証評価の機能 法科大学院の質保証と認証評価 法令基準・設置認可基準・認証評価基準の位置づけ 不適格認定の判断のあり方</p> <p>京藤 哲久 / (財)日弁連法務研究財団 認証評価の次のステップ～日本の法曹の質の向上につながる認証評価をめざして 評価基準に沿った教育改善の努力は法曹の質を高めているか ～現場の試行錯誤と認証評価機関のあるべきスタンス 適性試験の役割 ～法曹になる夢・努力と適性試験の信頼性 / dream breaker になってしまってもよいのか 高等教育機関に属することと高度専門職業人の養成機関としての法科大学院の両立可能性 ～はいりやすく出にくい法科大学院か、はいりにくく出やすい法科大学院か / 伸びるきっかけをつかめない学生をどう指導するか 修了後受験までの経済的支援、勉学環境支援の不備をどうするのか ～奨学金が切れる修了生がおかれる厳しい状況</p> <p style="text-align: right;">質疑応答</p>
14:20 ~ 15:30	<p>法科大学院の教育理念の具体化～司法試験・司法修習との連携の中で ～“日本型法化市民社会”像と“新弁護士”像を拓く～</p> <p>古口 章 / リベルテ法律事務所・静岡大学法科大学院 法学未修者を3年間で教育し、司法試験・司法修習を経て、実務家に養成していくプロセスとシステムは基本的に成功していると言える。むろん様々な課題があるものの、より理念にそったものとして成熟させていく可能性を切り拓いてきた。 現在、立ち足る壁は何であり、その原因は。議論されているコア・カリキュラム(共通の到達目標)策定論や定員削減論などをどう捉えるべきか。 教育の到達目標についての日弁連の提言 “第1期修了生”としての2年間の教育評価、実務家養成という理念は教育現場で実現されているか。 未修生にとっての新司法試験のハードルは。司法試験・司法修習への評価と提言は。</p> <p>布施 正樹 / 石下雅樹法律・特許事務所 3年間の新司法試験の結果を受けての感想と問題点 法科大学院教育で得たもの～実務に出て気づいたこと、当時を振り返っての反省点 法科大学院教育の今後の課題～「質の低下」論、「実務との架橋」に関連して 法科大学院の掲げる「理想」と抱える「現実」 ～「受験指導」の功罪、法科大学院間の環境落差・実績格差 司法試験と司法修習のあり方を考える</p> <p style="text-align: right;">質疑応答</p>
15:40 ~ 16:50	<p>弁護士職の職域・業務拡大と将来展望 ～法化社会を支える司法アクセスの多様な促進～</p> <p>出井 直樹 / 日本弁護士連合会 司法改革が目指したもの...社会も変わる、弁護士像も変わる。それにつれて弁護士の職域・業務も変わる。しかし、その変化の中でも失ってはならないコアバリューがある。 法科大学院には、法曹のコアバリューを維持しながら、社会の変化、弁護士の職域・業務の変化を視野に入れた実務法曹教育が求められる。 企業内弁護士から見て、ここ10年の企業法務、企業の法的環境の変化は? 企業内弁護士の役割(企業外の弁護士とは異なる機能、存在意義はどこ?)</p> <p>梅田 康宏 / 日本組織内弁護士協会 弁護士職の職域拡大を、行政改革(規制緩和と地方分権を柱とした「小さな政府」を志向するもの)の大きな流れの中でどう位置づけるかを再度確認し、その上で、教育プロセス、試験(司法試験・修習生考試)、法曹人口、法科大学院の適正数などを議論することが大切である。 司法制度改革のうち、法曹人口増、参入規制撤廃(公務員就任禁止と企業内弁護士許可制の撤廃)、法科大学院制度の発足、はいずれも上記の議論の上に積み上げたものである。 最近の議論は、大きな理念を離れ、個別の論点をそれぞれの立場の者が自分の立場から主張しているためにかみ合っていない議論が多い。それを整理して解きほぐすところから始めなければならない。</p>

	<p>日弁連が標榜する「社会正義の実現」や「プロボノ活動」とは、どういった概念なのか。企業や行政庁の中に入り、企業活動や行政執行が適正に行われるように努める弁護士の活動は、弁護士の“理念”との関係ではどのように位置づけられるのか。よくいわれる「在野性」は「弁護士の理念」の必須要件なのか。</p> <p>弁護士会の中でも、弁護士の職域拡大に関して、様々な考えがあり一枚岩とは言えないが、日弁連としてこの辺りをどう位置づけるのが重要な点であると思われる。このようなところを議論したい。</p> <p style="text-align: right;">質疑応答</p>
17:00 ~ 18:00	懇談・交流パーティ “法科大学院の明日を拓く” ~各対論者を囲んで~

これからの法学・法律系学部教育とキャリア形成

2008年10月17日(金)

時間	講義項目
13:00 ~ 14:20	<p>〔問題提起〕法律系資格の有用性と進路・キャリア指導への期待 ~法学検定・行政書士・宅建・公認会計士,そして...~ (株)法学館・伊藤塾 塚本 雅基</p> <p>1. 最近の法科大学院をめぐる学部生の意識と行動 (1) 適性試験受験生の減少続く~法学部生で増える公認会計士資格受験 (2) 旧司法試験受験生の動向~法曹か司法書士か,それとも... (3) 法学部生を中心とする文系学部生2011年問題~法科大学院よりも予備試験か? (4) 求められる資格試験~試験対策をしない専門職大学院の意味は?</p> <p>2. 法学部生の勉強意欲のステップアップへの指導 (1) なぜ,資格予備校に学生がくるのか (2) やる気はあるが,何をどうしたらよいか分からない (3) 資格取得と職種進路選択の拡がり (4) 各資格の難易度とともに,キャリアアップ (5) とくに,女子学生にとっての有用性</p> <p style="text-align: right;">質疑応答</p>
14:30 ~ 15:30	<p>法学・法律系学士課程教育の課題と再構築 ~到達目標の明確化と各種検定・資格取得への対応~ 専修大学 木幡 文徳</p> <p>1. 法学・法律系教育をめぐる学問・実務論議 2. 法科大学院への取組みと法学部の再構築 3. 法学・法律系学部生の教育目標と進路選択 4. 学習・キャリア目標と達成度の確認・評価 5. 法学部・法科大学院の今後</p> <p style="text-align: right;">質疑応答</p>
15:40 ~ 17:00	<p>司法書士業務の拡大と人材養成・教育ニーズ ~法学部教育における実務家養成の課題~ 桜美林大学 齋藤 隆夫</p> <p>1. 司法書士制度の紹介 (1) 生い立ち (2) 司法書士の資格と登録 (3) 団体と自治...司法書士会と日本司法書士会連合会 (4) 責任の担保...研修と保険</p> <p>2. 司法書士の業務 (1) 登記の代理...不動産登記と商業登記 (2) 裁判手続き...書類作成と能力認定考査による簡易裁判所の訴訟代理 (3) その他...供託の代理と成年後見</p> <p>3. 司法書士業務の現状と展望 (1) 現状の概観 (2) 将来展望...弁護士増加の影響</p> <p>4. 試験について (1) 司法書士試験科目 (2) 簡易裁判所訴訟代理に関する能力認定考査</p> <p>5. 司法書士の養成 (1) 現状と考えられる問題 (2) 基礎教育、実務教育と受験教育 (3) 役割の分担</p> <p>6. 法学部への期待 (1) 専門職の紹介と情報提供 (2) カリキュラムの充実と構造化 (3) 実務系の授業科目と課外講座 (4) 実務家教員の役割</p> <p style="text-align: right;">質疑応答</p>